

全国の医療機関で**看護補助者**を募集しています

資格
不問

たくさんの“ありがとう!”を もらって誇れる仕事

- ✔ 看護チームの一員として、看護補助業務（シーツ交換やベッドメイキング、診察に必要な書類の整備・補充、患者の日常生活に関わる業務など）を行います。
- ✔ 資格がなくても応募でき、幅広い年齢の方が実際に現場で活躍しています。



あなたにもできる！
病院は、医師や看護師を支援する人材を求めています
【PR動画 看護補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel
<https://www.youtube.com/watch?v=HIFFTJVsrkA>



厚生労働省

医療専門職支援人材確保・定着支援事業

『看護補助者』とは

病院や診療所の医療機関において看護チームの一員として、看護師の指示のもと専門的判断を必要としない看護補助業務を行う職種です。看護補助者は公的な資格が必要な職種ではなく、その名称も医療機関によって「看護助手」や「看護アシスタント」「ナースエイド」などさまざまです。

1 医療現場で看護補助者が求められている背景

専門性を必要とする業務に看護師が専念するためにも、看護チーム内において看護師と看護補助者との間で適切な役割分担をすすめることが、医療機関では重要課題となっています。看護補助者は、質の高い看護を提供するチームの一員として、非常に重要な役割を担っています。

注) 看護補助者が働くために必要な知識や技術に関する研修は、医療機関において行われます。

2 お仕事内容

1. 周辺業務（対象者に接しない業務）

① 生活環境に関わる業務

（病床および病床周辺の清掃・整頓、病室環境の調整、シーツ交換やベッドメイキングなど）

② 診療の補助に関わる周辺業務

（処置・検査等の伝票類の準備・整備、看護に必要な書類の整備・補充、診療の補助に必要な機械、器具等の準備・片付けなど）

2. 直接ケア

日常生活に関わる業務

（身体の清潔に関する業務、排泄に関する業務、食事に関する業務、移動・移送に関する業務など）

Q & A



A.以前から医療関係の仕事に関心をもっていたのですが、看護師等の資格や医療に関する知識があるわけではなく、どうしたらいいかと考えていたところ看護補助者という職業を知り、ぜひやってみたいと思い応募しました。



A.食事や入浴など患者さんが自分で出来ないことの介助をやったり、看護に必要な備品の整理などを行っています。ほかにも食事の配膳や看護師の業務の補助を行っています。



A.患者さんと触れ合う機会が多いことから、患者さんご本人やご家族の方から感謝される事も多く、人の役に立っているのを実感することが、楽しさにつながっています。



A.看護補助者は直接的な医療行為は出来ませんが、医師や看護師と同じく、人の命に関わる医療現場が職場です。資格がなくても、仕事の重みと達成感を日々感じながら働くことのできる職種です。



あなたにもできる！

病院は、医師や看護師を支援する人材を求めています

【PR動画 看護補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel

<https://www.youtube.com/watch?v=HIFFTJVsRkA>



厚生労働省

医療専門職支援人材確保・定着支援事業